

事業実施状況 指定管理者 自己評価票（ひな形）

施設名	国分寺市障害者センター
指定管理者名	社会福祉法人 万葉の里

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由
収支計画の適確性	収支計画に基づき適正に執行されているか	3	利用率低下による収入減がある一方で、加算を取れる体制を整えて安定した収入獲得に努めた。支出では、東京都の補助事業である「居住支援特別手当」を対象外職員へも法人独自の対応として支給した。結果、当初より人件費の支出が増えた。その他の項目については計画に基づき適正に執行した。
	協定等に基づき業務が実施されているか	3	協定書に基づき遂行した。
業務の履行状況の評価	開館予定日数・開館時間は守られているか	3	協定通りに実施した。
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっているか	3	業務遂行に必要な従業員を配置し、法令及び協定書に基づき運営を行った。
	管理運営に必要な有資格者（防火管理者等）が確保されているか	3	管理運営に必要な有資格者（防火管理者等）を配置し、適正に運営した。
	書類は適正に保管され、必要な報告を市に行っているか	3	法人で定めている文書管理規定に基づき書類は適正に管理している。また市には適宜必要な報告を行っている。
	施設全体が清潔に保たれているか	4	委託業務による清掃とともに、職員も定期的に清掃を実施し、清潔の保持に努めている。また、状況に応じて必要箇所の消毒を実施し感染症予防に努めている。
	法定点検や検査等は確実に実施しているか	3	法令上求められている点検を確実に実施した。
	利用者の満足度かどうか（※アンケート調査を実施した場合は資料を添付すること）	3	利用者の満足度を図ることも含め「第三者評価」及び「利用者アンケート」を実施した。
サービスの質に関する評価	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	3	利用者会議、利用者自治会、家族会、活動報告会等を開催し、利用者等と意見交換をしながら企画立案、実施を行っている。
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であるか	3	「万葉の里で働くあなたへ」を活用し、社会人・支援者として求められることを示して人材育成に努めている。また必要に応じて個別面談や、e-ラーニング等を活用しての研修も実施した。
	クレーム等に対して適切に対処しているか	3	苦情解決委員会に上がる事案はなかった。日常的な意見や相談にはその都度応じ、できる限り改善を図るように取り組んでいる。
	個人情報 that 適切に取り扱われているか	3	個人情報の取扱いについてはヒヤリハット報告等も活用し、課長会議や各部の会議等で日常業務の振り返りを行い事故防止に努めている。
	業務に必要な研修を実施しているか	4	資格（サービス管理責任者・相談支援専門員・喀痰吸引等3号等）に関わる研修は計画的に受講をしている。医務研修は外部講師による研修を2回実施し、生活介護事業以外の職員も受講してスキルアップを目指した。また、各事業毎に外部講師による研修・事例検討の実施と、必要に応じて外部研修の受講も行っている。

	合理的配慮等，障害者への対応は適切であったか	4	生活介護事業において、合理的配慮の観点から呼吸器装着の方の単独通所について取り組みを継続した。1名の方は1月より月2回の単独通所試行を実施できた。また、緊急時シミュレーションを繰り返して行うことで、様々な場面での対応の経験を重ね、支援に活かせるよう取り組んでいる。
	業務の改善を図ったか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	3	モニタリング時に指摘された事項については、事業内で共有し、次のモニタリングまでの間に改善を図った。
施設の特性に応じた水準の評価	虐待防止の取組み	4	虐待が起こり難い職場環境を目指し、「心理的安全性」をテーマとした虐待防止研修が3年目を迎えた。管理職向け研修1回(8月)、全職員向け研修を2回(9月・1月)に実施。また不適切と思われる対応が生じた場合は、速やかに個別面談・指導を行い、虐待の予防に努めた。
	人材育成の取組み	4	高齢化・重度化と、医療的ケアへの対応の強化を図るため、医務研修の継続や喀痰吸引研修のフォローアップを通じてスキルアップに取り組んでいる。短期入所事業の介護人についても必要に応じて太陽でのOJTや研修参加をして、利用者理解や支援技術の向上に取り組んだ。
指 定 管 理 者 の 自 己 評 価			
総合評価		評価の理由等	
3	市の要求水準を満たしている	条例、指定管理協定、事業計画、収支予算書に基づき適正に運営を行った。サービスを必要とする市民が安心して利用できるようサービス向上に努め、更なる利用者満足につながるよう取り組んでいる。力を入れてきた利用者の高齢化・重度化と医療的ケアを必要とされる方の受入体制整備の強化に引き続き取り組んだ。また、令和8年度以降に控えている大規模修繕に向けて、障害福祉課と協議を重ね、課題整理に取り組んでいる。	
		評価者氏名：伊佐 素子	

- 5 市の要求水準を大幅に上回っている
- 4 市の要求水準を上回っている
- 3 要求水準を満たしている
- 2 改善を要する
- 1 抜本的見直しを要する